

# ポリシー制定裏話？

---

2007.1.24

日本電信電話株式会社

外山 勝保

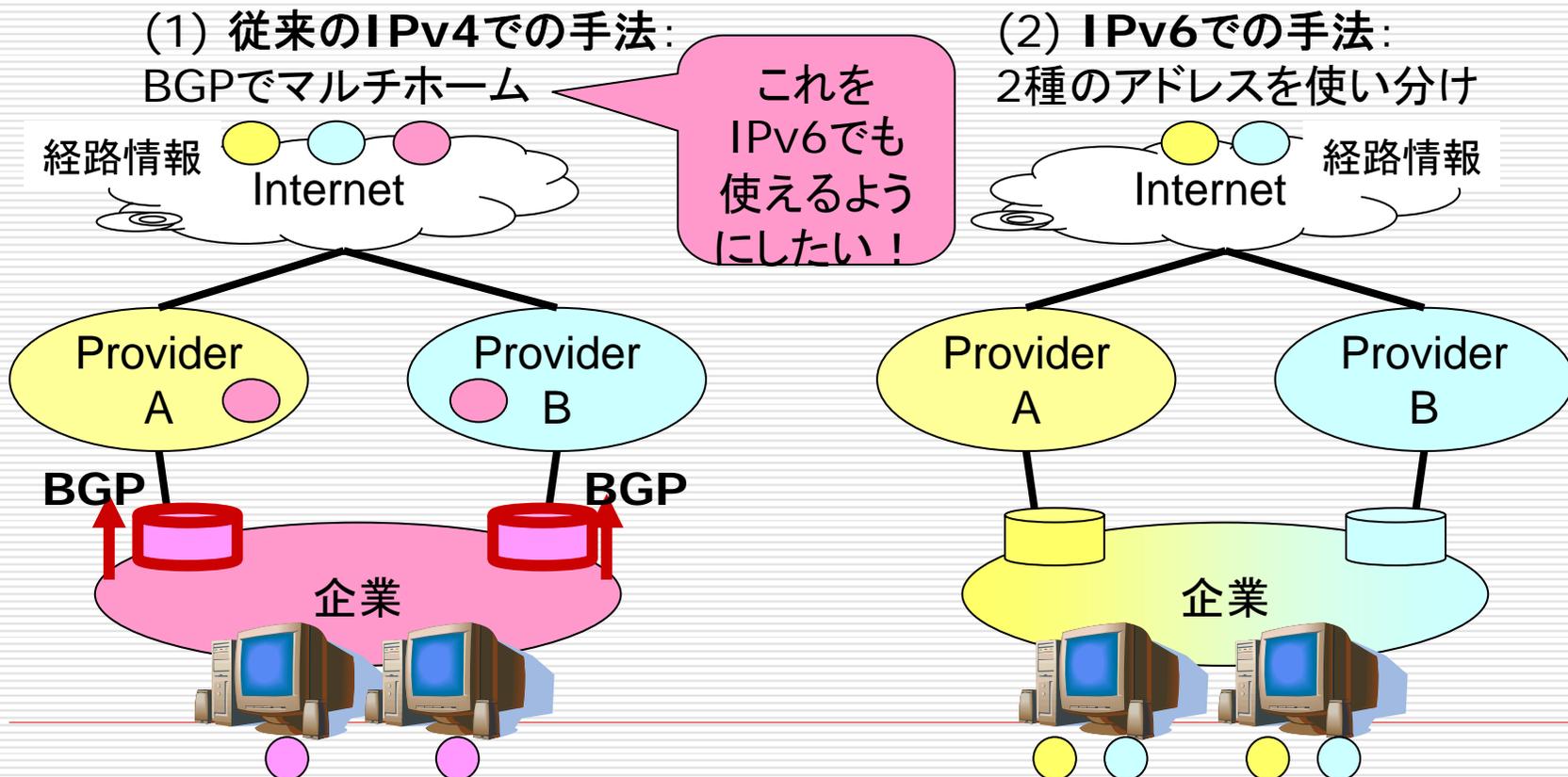
# IPv6プロバイダ非依存(PI)アドレス

---

- 成功編、、、ということですが。
  - ほんとはきちんと使われてから「成功」と言いたいなあ。
  - とはいえ、オペレータのみなさんの参考になれば。
  
  - そもそもなぜ提案したのか？
  
  - 思いつき。。。思い立ったら即行動！
    - そこまで刹那的ではなかったですけど 😊
    - もともと、IPv6アドレス割り振りポリシって、これでよいのか？と思っていたのは事実です。
-

# なにが問題だと思っていたのか？

- ふつうの企業が、複数のプロバイダにインターネット接続を行う「マルチホーム」接続が**IPv6ではできない**。
- IPv6がまだ普及していないといって、利用者が困る状況を放っておくわけにはいかない。



# どういう経過をたどったか。。

---

- 2005年10月 NANOG/ARINに出席。
    - 北米のPI議論を聞きつつ、きちんと考えたいという気持ちが沸々と。
  - 2005年12月 JPOPMで提案
    - 。。。前泊して、悶々としながらプレゼン案を練る。
    - 「何を考えているんじゃ！」という批判を覚悟したが、前向きなご意見が多く、APNICへの提案という流れに。
      - やばい、こういうときは言い出しっぺがやるんだよね。。
  - 2005年12月～ 検討グループ発足
    - エキスパートに支援をお願い。(精鋭8名)
    - 都内某ホテルで、合宿までしてしまいました！！
-

---

□ 2006年5月 APNICへ提案

- 欧州方面から、別のPI提案が！
- 骨子は固まっていたので、こちらも即座に提案

□ 2006年6月 根回し開始

- NANOGへ行き、キーパーソンに打診。
- 「だめ！」と言われるかと思いきや、「いいじゃん」。

□ 2006年9月 APNIC Policy SIG

- 会議直前も根回し。。(Thanks, Okutani-san!)
    - うるさ方のみなさん、Policy SIGのチェア
  - で、2つのPI提案....我々の提案が「コンセンサス」
    - 挙手のときのJapan Power ... ありがたいっす
-

# 今回の成功要因

---

- 提案内容をエキスパートのみなさんとチェック！
    - 現実的・実現可能な条件
    - 提案内容を支えるデータやロジックを強化
  
  - キーパーソンとの事前ネゴ
    - 会議での発言力のあるキーパーソンと、NANOG(2006年6月)および本会議前日(9/6)に話し合い、疑問点を修正。表立った反対がないよう封じ込めた。
  
  - 議長との連携
    - もう一つの提案との関係でどう採決すべきかを事前に議長と調整した。
-

# オペレータのみなさんへ

---

□オペレータの端くれ(と自分では思っている)私でもポリシー提案することができました。

■もちろん皆さんが積極的に協力してくれたからです。

□ポリシーに関して、ここを直して欲しいなーと思うことは、どんどんJPOPMで提案してみてもいいかがでしょうか。

■言い出しっぺの法則はここでも適用されますが

■エキスパートがサポートしてくれます。(きっぱり)

---

# Special Thanks to:

---

ご清聴  
ありがとうございました

## □ IPv6 PI 検討WGメンバ(五十音順)

- 荒野高志さん(インテックネットコア)、  
石井利教さん(JPNAP)、  
伊藤公佑さん(IRIユビテック)、  
大石憲且さん(ネクステック)、  
奥谷泉さん(JPNIC)、  
西野大さん(JPIX)、  
藤崎智宏さん(NTT)、  
穂坂俊之さん(JPNIC)

## □ そのほか

- アラクサラ 鈴木伸介さん、新さん
  - NTT PF研 松本存史さん
  - APNIC Policy SIGで支援してくださったみなさま
  - Randy Bush, Geoff Huston, Tony Hain, and many others in Asia-pacific region!!
-